

脳神経外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省文部科学省経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年文部科学省厚生労働省経済産業省告示第1号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

頚椎手術に関する研究

1. 研究の対象

2020年4月～2023年3月に当院で頚椎の手術を受けられた方

2. 研究の目的・方法

Williams-Isu法は椎間板高が狭小化し骨棘が著明な症例やOPLLなど病変が上下に大きく広がっている頚椎病変に対して有効な前方除圧固定術の一つである。薄刃(0.4mm)のWilliams microsurgical sawの販売中止によりこの術式は過去のものになりつつある。当院では、Williams microsurgical sawの代わりにマイクロダイヤモンドドリルを用いて移植骨を採取し手術を行なっている。マイクロドリルを用いてWilliams-Isu法をおこなった患者を対象に術後経過を観察・追跡調査し分析することにある。

3. 研究に用いる試料・情報

長期フォローで椎体角の変化や椎体間の高さの変化など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先：

北海道釧路市中園町13番23号

電話 0154-22-7191 FAX 0154-25-7308

釧路労災病院 脳神経外科 氏名 吉永 泰介

研究責任者

釧路労災病院 脳神経外科 部長 氏名 井須 豊彦